

## 株式会社エスワイプロモーション

# 白老港に道内最大規模の食用油貯蔵施設 白老SPセンター開所



食品の液体輸送をメインとする輸送事業会社「エスワイプロモーション」（東京、神谷秀彦代表取締役社長）の食用油貯蔵施設「白老SPセンター」（白老町石山）がこのほど、開所しました。

白老港にある同施設にはこれまで、約750kl分の食用油貯蔵タンクがありましたが、キャノーラ油など貯蔵する200klタンク5基を数年をかけ新設。道内最大規模の食用油供給拠点になりました。既に道内の外食産業やスーパー、食品工場にタンクローリーでの供給を行っています。

開所式では神谷社長は、同施設の果たす役割の大きさを紹介。「道民に安心、安全な製品を届けたい」と、今後の新造船による海上輸送の充実計画などを披露しました。来賓の大塩英男町長もタンクのバルブオープンセレモニーに加わり、町、本道経済への寄与に期待していました。

## 観光のスペシャリストに 地域活性化起業人を委嘱

### (株)JTБの渋谷和憲さん

町はこのほど、地域ブランドの推進を図るため、専門知識を有する民間企業などの社員を一定期間受け入れる地域活性化起業人プログラムを初めて活用。観光分野での活躍が期待されています。

渋谷さん(58)は、JTБの北海道事業本部長、北海道観光振興機構、地域支援本部長を経て町の招請で、白老観光協会常務理事として出向しています。

渋谷さんは「入り込み数を増やすのに、これをやれば必ず活性化する、という策はないですね。魅力のブラッシュアップ（既にあるものをよくする）と努力です」とプロの厳しい目を注ぎながら、「食と温泉と自然と、すべてそろえているのが白老。ポテンシャルはある」と評価。ウポポイを核としたまちの回遊、虎杖浜温泉の再認識、教育旅行などターゲットを絞った誘客、広域連携、まちのホスピタリティ…と、広い目配りで「まず町の名前を知ってもらうことが大切。少しでも白老のために役立ちたい」と、柔和な表情の陰で意欲を燃やしています。



行きます、聞きます 提案します

## 商工会ふっとわーく

令和5年4月、新たに野宮淳史事務局長が就任しました。野宮事務局長は名寄市出身で、父親が中学校の教員だった関係で転居が多かったそうです。大学を卒業後、1986年に白老町役場に入り、生活環境課などを経て、2013年～2019年には町立病院の事務長を務めました。2022年に役場を定年退職しました。野宮事務局長からのコメントを紹介します。

よろしく  
お願い  
します

「私は白老町役場で37年間勤務しておりましたが、商工業・中小企業振興など産業経済に関わる業務は未経験でありますことから、甚だ微力ではありますが、新たな業務遂行に努めるとともに、商工会会員の皆様との積極的なコミュニケーションを図るなど、地域経済の活性化と商工業振興のために尽力して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします」（白老町商工会 しらおい経済センター内 ☎82-2775）

